



熊谷市立熊谷東小学校

校長 吉野 富夫

一 本校の沿革

明治六年四月三〇日熊谷学校開校、熊谷寺を本校、報恩寺を支校。同年十二月、報恩寺に統合。明治十二年公立熊谷小学校へ校名変更。明治二十年、小学校令発布により熊谷小学校（尋常小学校）と、大里高等小学校に分かれる。高城神社境内社殿の西方に設立。明治四十一年大里高等小学校を熊谷高等小学校へ改称。明治四十三年、熊谷男子尋常高等小学校と熊谷女子尋常高等小学校（現熊谷西小）の二つに分かれ、男女別々の学校で学ぶ。昭和二年四月十八日、「青い目の人形（ナンシー・ジェーン）」の歓迎式。昭和十年、熊谷東尋常高等小学校となり、現在地に共学の小学校として開校。昭和十六年、熊谷東国民学校に改称。昭和二十二

年、熊谷東小学校に改称。昭和四十六年九月、修学旅行にあたり作成された紺帽子は、熊谷東小ならではの通学帽子となり、現在も使用。平成二十四年五月十五日新体育館竣工式。

二 校章・校歌制定に係るエピソード

1 校章

① 制定年 昭和十年六月

② ◇は男子、□は女子。男女共学となるので、共に仲よくするように、そして、四方八方に発展する意味を表す。また、古代鏡を象ったもので、「光は東方より」の意味より、東小の隆盛を願った。当時の図工主任 増富静雄氏考案。

2 校歌

② 制定年 昭和十年十一月

② 全職員が応募した校歌の中から優秀作二点を選出。國學院大學長河野省三氏に推薦を依頼。作曲は、当時東京音楽学校（現東京芸術大学）教授下総皖一氏に依頼。

熊谷市立 熊谷東小学校 校歌

河野 省三 作詞
下総 皖一 作曲

mf

1. あ さ ひ は の ぼ る ひ が し の み そ ら

あ か る く き よ く わ が ひ の も と の

こ の ま な び や は た の し き と こ ろ

mf *f*

い そ し み は げ ま ん い さ ま し く

<p>三、 堤<small>つみ</small>におう 桜<small>さくら</small>の花を 大和心<small>やまとこころ</small>の わが真心<small>まごころ</small>と 流れ<small>なが</small>にうつす 祖先<small>そせん</small>のいさお 伝えて<small>つた</small>進<small>すす</small>まん もろともに</p>	<p>二、 仰<small>あお</small>げばゆかし 富士<small>ふじ</small>の高嶺<small>たかね</small> 高<small>たか</small>く正<small>ただ</small>しき み国<small>くに</small>のすがた 朝<small>あさ</small>な夕<small>ゆう</small>なの われらのかがみ 心<small>こころ</small>をみがかん たゆまずに</p>	<p>一、 朝<small>あさ</small>日はのぼる 東<small>ひがし</small>のみ空<small>そら</small> 明<small>あか</small>るく清<small>きよ</small>く わが日<small>ひ</small>の本<small>もと</small> この学舎<small>まなびや</small>は 楽<small>たの</small>しきところ いそしみはげまん 勇<small>いさ</small>ましく</p>
---	---	--